

政策目標	3	活力みなぎる元気な街						
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備						
施策の基本方針								
<p>超高齢社会の進展や環境への影響に配慮しながら、都市の魅力を高め、持続的に発展していくため、都心や苗穂駅周辺地区など地域特性に応じた拠点のまちづくりを進め、コンパクトシティへの再構築を推進します。また、総合的な交通計画を策定し、公共交通機関を軸とした交通体系の確立を図るとともに、路面電車の延伸、北海道新幹線の札幌延伸、自転車の利用環境の充実などを推進します。</p>								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)				合計	進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(予算)	25年度(予算)	26年度(予算)		
施策1 道都札幌を支える交通体系の構築								
	路面電車延伸推進事業	2,014,000	76,475	146,935			223,410	11.1
	路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入	852,000	0	348,965			348,965	41.0
	ICカード「SAPICA」の導入拡大と活用	3,297,000	1,076,822	1,169,000			2,245,822	68.1
	SAPICAの地下鉄・バス・路面電車での共通利用および他事業者の発行するICカードの受入(片利用)	2,174,000	253,685	1,256,218			1,509,903	69.5
	地域交通計画策定事業	35,000	11,078	5,400			16,478	47.1
	公共交通利用促進事業	64,000	31,668	6,200			37,868	59.2
	北海道新幹線推進事業	80,000	6,176	20,000			26,176	32.7
	丘珠空港利用促進事業	20,000	8,400	4,000			12,400	62.0
	都心アクセス道路強化事業	39,000	3,026	12,000			15,026	38.5
	自転車マナー向上対策の拡充	10,000	0	5,000			5,000	50.0
	総合的な駐輪対策の推進	1,372,000	84,929	288,384			373,313	27.2
施策2 魅力あふれる都市のまちづくり								
	将来を見据えた都市構造(コンパクト・シティ)への強化推進事業	40,000	7,221	8,000			15,221	38.1
	郊外住宅地のエリアマネジメント推進事業	48,000	8,825	11,900			20,725	43.2
	苗穂駅周辺地区のまちづくり事業	1,447,000	3,887	111,000			114,887	7.9
	民間再開発による苗穂まちづくりへの支援(北3東11周辺地区)	188,000	0	0			0	0.0
	民間再開発によるまちづくりへの支援	6,836,000	244,570	765,640			1,010,210	14.8
	創世1.1.1区北1西1地区市街地再開発推進事業	4,429,000	2,108	7,000			9,108	0.2
	(仮称)市民交流複合施設の整備【再掲】	7,793,000	2,582	16,000			18,582	0.2
	西2丁目地下歩道整備計画推進事業	1,448,000	6,108	4,000			10,108	0.7
	大通交流拠点まちづくり推進事業	2,158,000	19,460	36,500			55,960	2.6
	南一条まちづくりの事業化検討	—	9,348	9,500			18,848	—
	都心まちづくり戦略事業化推進	25,000	5,377	6,000			11,377	45.5
	都心エリアマネジメント推進事業	28,000	7,029	6,500			13,529	48.3
	札幌駅交流拠点まちづくり推進事業	28,000	6,447	6,000			12,447	44.5
	創世交流拠点まちづくり推進事業	23,000	1,159	4,000			5,159	22.4
	総合的な駐輪対策の推進【再掲】	1,372,000	84,929	288,384			373,313	27.2
施策3 市有建築物の保全、長寿命化などの推進								
	市有建築物の総合的な保全の推進	11,394,000	2,291,352	3,220,000			5,511,352	48.4
	札幌市立大学施設整備費補助	265,000	0	0			0	0.0
	学校給食における衛生管理の充実・向上	165,000	5,050	58,600			63,650	38.6
	中学校格技場整備事業	660,000	282,937	334,200			617,137	93.5
	市有建築物の改築等	2,713,000	759,088	1,768,408			2,527,496	93.2
	(仮称)白石区複合庁舎整備事業	4,306,000	12,252	68,530			80,782	1.9
	学校施設改築事業	20,756,000	3,141,622	7,083,888			10,225,510	49.3
重点課題合計		76,079,000	8,453,610	17,076,152	0	0	25,529,762	33.6

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政策目標	3	活力みなぎる元気な街
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備
計画事業費の執行状況		

計画事業費と予算額、予算額と決算額との主な乖離の理由

23年度	【路面電車延伸推進事業】減:業務委託の落札価格が見込みより低かったため。 【地域交通計画策定事業】増:当初計画より前倒したため。
24年度	【大交通流拠点まちづくり推進事業】減:構造体に係る詳細検討等により、事業スケジュールが1年延期となったため。 【学校施設改築事業】増:計画の具体化に伴う設計額等の増加による。
4年間を通して	

政策目標	3	活力みなぎる元気な街
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備

達成目標の状況

事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 道都札幌を支える交通体系の構築						
路面電車延伸推進事業						
1 路面電車活用計画の策定	検討	策定				策定 (23年度)
2 既設線のループ化	-	-				完成
路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入						
3 低床車両の導入	-	-				3両
ICカード「SAPICA」の導入拡大と活用						
4 バス・路面電車のICカード導入社数	-	-				4社 (25年度)
5 行政等の電子マネー決済導入箇所	1カ所	19カ所				19カ所 (24年度)
SAPICAの地下鉄・バス・路面電車での共通利用および他事業者の発行するICカードの受入(片利用)						
6 SAPICAの市内民間バスおよび路面電車への導入	-	準備				導入 (25年度)
7 JRなど他事業者の発行するICカードの受入	-	準備				受入 (25年度)
地域交通計画策定事業						
8 地域交通計画の策定	検討	検討				策定
公共交通利用促進事業						
9 公共交通への自発的転換促進	検討	一部実施				実施
北海道新幹線推進事業						
10 早期の認可・着工の決定	-	未着工				着工
11 啓発・PR活動の実施回数	16回	4回				20回
丘珠空港利用促進事業						
12 丘珠空港路線の利用者数	155千人	128千人 (速報値)				170千人
都心アクセス道路強化事業						
13 都心アクセス強化道路の計画検討(豊平川通北伸)	-	-				計画検討
自転車マナー向上対策の拡充						
14 都心部に押し歩き地区を設定	-	-				設定
15 パーチャル自転車教習所の利用者数	-	-				20,000人
総合的な駐輪対策の推進						
16 駐輪場整備台数(都心部)	5,571台	5,626台				6,721台
17 駐輪場整備台数(駅周辺)	42,259台	42,976台				44,039台

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街				
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備				
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策2 魅力あふれる都市のまちづくり						
将来を見据えた都市構造(コンパクト・シティ)への強化推進事業						
18 用途地域等の全市見直し	検討	実施				実施 (23年度)
19 都市計画マスタープランの見直し	—	—				実施
郊外住宅地のエリアマネジメント推進事業						
20 地域各種団体との勉強会の開催	—	8回				20回
21 エリアマネジメント手法を活用した取り組み	—	2事業				3事業
苗穂駅周辺地区のまちづくり事業						
22 施設整備	—	—				着工
民間再開発による苗穂まちづくりへの支援(北3東11周辺地区)						
23 再開発事業の進捗	検討	推進計画 策定				組合設立
民間再開発によるまちづくりへの支援						
24 琴似4・2地区再開発事業	工事中	工事中				完了 (25年度)
25 北8西1地区再開発事業	—	推進計画 策定				着工
26 南2西3南地区再開発事業	—	—				着工
創世1.1.1区北1西1地区市街地再開発推進事業						
27 北1西1地区市街地再開発事業の事業化	検討	検討				着工
(仮称)市民交流複合施設の整備【再掲】						
28 (仮称)市民交流複合施設の整備	検討	検討				着工
西2丁目地下歩道整備計画推進事業						
29 西2丁目地下歩道の整備	検討	検討				着工
大通交流拠点まちづくり推進事業						
30 大通交流拠点の整備	検討	検討				整備 (25年度)
南一条まちづくりの事業化検討						
31 南一条地区整備の事業化	検討	検討				事業化判断
都心まちづくり戦略事業化推進						
32 創成川以東地区まちづくり会議の設置	—	設置				設置 (23年度)
33 創成川以東地区まちづくり計画の策定	—	検討				策定 (24年度)
都心エリアマネジメント推進事業						
34 都心全体のエリアマネジメント組織設立	検討	都心まちづくり 推進会議を開催				設立
35 地区が連携した都心部活性化の取り組みの実施	検討	駅前通地区、大通 地区で実施				すべての地区 での実施
札幌駅交流拠点まちづくり推進事業						
36 札幌駅交流拠点再整備構想の策定	検討	検討				策定 (24年度)
37 整備基本計画の策定	—	—				策定
創世交流拠点まちづくり推進事業						
38 創世交流拠点まちづくりガイドラインの策定	検討	検討				策定 (25年度)
総合的な駐輪対策の推進【再掲】						
39 駐輪場整備台数(都心部)	5,571台	5,626台				6,721台
40 駐輪場整備台数(駅周辺)	42,259台	42,976台				44,039台

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街					
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策3 市有建築物の保全、長寿命化などの推進							
市有建築物の総合的な保全の推進							
41 保全実施延べ施設数		—	41施設				120施設
札幌市立大学施設整備費補助							
42 適切な保全の実施		—	—				実施
学校給食における衛生管理の充実・向上							
43 汚染区域と非汚染区域を明確に区分している学校		16校	20校				98校
中学校格技場整備事業							
44 中学校への格技場設置数		66校	69校				72校
市有建築物の改築等							
45 エレベーター設置未着手の地区センター数		7カ所	6カ所				3カ所
46 区役所への非常用発電設備設置数		—	—				5区役所
(仮称)白石区複合庁舎整備事業							
47 (仮称)白石区複合庁舎の整備		—	基本計画 策定				着工
学校施設改築事業							
48 計画期間内に着手する学校数(累計)		—	2校				12校

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街					
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
市民意識・行動指標							
56 札幌市が「自転車のルールやマナーが守られている安全なまち」だと思う人の割合		18.0% (23年度)	—				40% (26年度)
57 公共交通に対する満足度		45.0% (22年度)	68.7% (23年度)				55% (26年度)
JR白石駅周辺整備や地下鉄全駅のエレベーター整備等の公共交通の利便性の向上に資する施策の実施が、数値の上昇をもたらしたと考えられる。							
58 住んでいる地域の住環境に満足している人の割合		55.7% (22年度)	75.9% (23年度)				60% (26年度)
都市計画分野のさまざまな取り組みが地域の住環境を向上させ、目標値を達成したと考えられる。							
59 札幌の都心に「にぎわい」があると感じる人の割合		63.0% (22年度)	76.2% (23年度)				70% (26年度)
札幌駅前通地下歩行空間の開通や創成川公園の開園、大通・札幌駅前通の両まちづくり会社の取組等が、都心のにぎわいにつながり、目標値を達成したと考えられる。							
社会成果指標							
60 公共交通の利用者数		107万人 (22年度)	107万人 (23年度)				108万人 (26年度)
横ばい傾向であるが、引き続き公共交通の利便性向上に努めるとともに、市民が過度の自動車利用を控え、公共交通の利用促進につながる取組を推進する。							

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策1	道都札幌を支える交通体系の構築	
23年度の主な取組内容(実績)		
路面電車活用計画策定。新型低床車両デザイン検討。ループ化区間の予備設計、延伸地域の検討。	電子マネー決済の導入(公共部門19カ所)。交通事業者に対しSAPICA導入初期費用の補助を実施。	
路面電車のICカードシステム及び地下鉄の駅務機器などの開発・改修に着手。	北海道新幹線札幌延伸の早期実現に向けた誘致PRイベントや広報啓発活動などを実施。	
都心部や駅周辺部に駐輪場を整備(大通公園、真駒内公園、JR白石駅)。		
24年度の主な取組内容(予定)		
ループ化区間の実施設計。延地域の検討。市電フェスティバルやフォーラム等での市民への情報提供。	低床車両1両を製造・導入。	
電子マネー決済の継続実施(公共部門19カ所)。交通事業者に対しSAPICA導入初期費用の補助を実施。	路面電車のICカードシステム及び地下鉄の駅務機器などの開発・試験を実施。	
北海道新幹線札幌延伸の早期実現に向けた誘致PRイベントや関係機関との連携強化などを実施。	自転車押し歩き地区の設定社会実験を実施。バーチャル自転車教習所を開設。	
都心部や駅周辺部に駐輪場を整備(麻生、北24条)。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【ICカード「SAPICA」の導入拡大と活用】バス・路面電車へのSAPICA導入への着手や電子マネー等の多目的な利用の実現により公共交通の利便性を高めることで、「公共交通に対する満足度」と「公共交通の利用者数」に貢献できた。 【総合的な駐輪対策の推進】駅周辺での駐輪場整備を行ったことにより、整備地区における公共交通利用者への利便性向上、駐輪対策の推進を通じた自転車利用の適正化が図られた。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【路面電車延伸推進事業】公共交通機関としての利便性の向上に向け、具体的な整備内容、運航計画の立案、利用者サービスの向上策について検討を進める。また、都心の賑わいづくりに向け、まちのイベントなどの活発な沿線活動との連携について地域との協議を進めていく。 【ICカード「SAPICA」の導入拡大と活用】バス・路面電車へのSAPICA導入は公共交通の利便性向上に大きく資する取組であることから、計画どおり25年度に導入を実現するため、各交通事業者と連携して着実に準備を進める。		
施策2	魅力あふれる都市のまちづくり	
23年度の主な取組内容(実績)		
「土地利用計画制度の運用方針」を見直し。	もみじ台や真駒内地域のエリアマネジメントを推進。	
苗穂駅周辺地区における、まちづくり計画の実現に向けて、事業・活動について検討。	琴似4・2地区再開発事業の建築工事を実施。	
大通交流拠点の施設計画検討。	都心各地区のまちづくり組織支援や北3条広場のにぎわい創出手法検討等により、都心のエリアマネジメントを推進。	
24年度の主な取組内容(予定)		
都市計画マスタープランの見直しにむけて基礎データ収集、関連施策等に係る調査検討を実施。	もみじ台や真駒内地域におけるエリアマネジメントを推進。	
苗穂駅周辺地区における、自由通路、ネットワーク道路等の基本設計や調査測量等を実施。	琴似4・2地区再開発事業の建築工事を継続実施。	
大通交流拠点の実実施設計。	都心各地区のまちづくり組織支援や札幌駅前通地上部の空間活用検討等により、都心のエリアマネジメントを推進。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【苗穂駅周辺地区のまちづくり事業】苗穂駅や周辺公共施設の都市計画決定をし、JR北海道から最終合意が得られたことから、整備を進め公共交通に対する満足度の増加を目指し、引き続き各関係機関と協議しながら進めていく。 【都心エリアマネジメント推進事業】大通・駅前通の両まちづくり会社の活動の恒常化・活発化による各種取組に加え、札幌駅前通地下広場、創成川公園の積極的な活用等により、にぎわいがあると感じる人の割合が大きく上回るなど、着実に成果が現れている。		

政策目標	3	活力みなぎる元気な街
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策2	魅力あふれる都市のまちづくり	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【将来を見据えた都市構造(コンパクト・シティ)への強化推進事業】少子高齢化の進展、人口減少社会の到来等、今日的な社会経済情勢に対応するため、都市マスタープランを見直し、マスタープランに基づく取り組みを推進していく。</p> <p>【大通交流拠点まちづくり推進事業】都心まちづくり計画及び大通交流拠点まちづくりガイドラインに示される「サッポロ広場」の実現に向けて、地区の地権者における建替事業、再開発事業等と連携し、官民協働で一体的な空間形成に取り組む必要がある。</p>		
施策3	市有建築物の保全、長寿命化などの推進	
23年度の主な取組内容(実績)		
保全工事(41施設)、新エネ・省エネ技術の導入(8施設)及びバリアフリー改善(6施設)を実施。		市有建築物4カ所の改築等を実施。
(仮称)白石区複合庁舎に係る基本計画策定、民間機能導入に関する調査及び検討会・説明会を実施。		学校施設2校の改築工事に着手。
24年度の主な取組内容(予定)		
保全工事、新エネ・省エネ技術の導入及びバリアフリー改善を計画的に実施。		市有建築物8カ所の改築等を実施。
(仮称)白石区複合庁舎に係る基本設計、地質調査、測量、区民検討会及び民間事業者の公募を実施。		学校施設4校の改築工事に着手。
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
<p>【市有建築物の総合的な保全の推進】市有建築物の計画的な保全により、長寿命化はもとより、環境負荷低減やバリアフリー化などの機能改善を着実に進めている。</p> <p>【学校施設改築事業】災害時には避難所となり、また、平常時においては地域の核ともなる学校施設について、老朽化した施設の改築により、耐震性能の向上及び機能改善が進み、地域環境の向上に貢献できた。</p>		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
<p>【(仮称)白石区複合庁舎整備事業】地域の防災拠点としての機能を併せ持つ白石区複合庁舎について、適切な耐震性能の確保などにより長期間の使用に耐えうる施設づくりに取り組む。</p> <p>【学校施設改築事業】今後、人口急増期に設置した多数の学校が一斉に更新時期を迎えることから、計画的に改築を進め、耐震性能の向上及び環境の改善を図る。</p>		
協働の状況		
【路面電車延伸推進事業】寄付や新型車両の愛称募集など、市民参加の取組について検討。		
【SAPICAの地下鉄・バス・路面電車での共通利用および他事業者の発行するICカードの受入(片利用)】市内民間バス事業者などとともにサービス内容の検討及びシステムの開発などについて協議を実施。		
【学校施設改築事業】基本設計にあたり、保護者や地域住民の代表者等と協議しながら計画案を作成するとともに、住民説明会及び児童へのアンケート等により意見を募集し、設計に反映させた。		